

松下幸之助記念財団 研究助成
研究報告

(MS Word データ送信)

【氏名】 飯島 直樹

【所属】(助成決定時) 東京大学大学院 人文社会系研究科

【研究題目】 元帥府の政治史的研究—明治立憲制との関係を中心に—

【研究の目的】(400字程度)

元帥府は、1898年1月に天皇の「軍事上ニ於テ最高顧問」たることを目的に設置された機関であり、山県有朋を始めとして、昭和期まで合計30名の大將が元帥府に列せられた。元帥府は宮中における天皇の軍事顧問機関として、国務上の最高顧問府たる枢密院と対比されるような存在であった一方、先行研究では、明確な職務規定のない曖昧な機関であったために、国政的にも軍事的にも不要という消極的評価が定着していた。しかし、実際には天皇による重要事項の積極的な諮詢が散見され、天皇が帷幄上奏事項を裁可する際には、元帥府・元帥の意見を判断材料にしていたことが窺える。この事実は、明治憲法上明記されていない天皇に対する統帥面の輔弼・輔翼責任を、軍政・軍令機関と憲法外の機関たる元帥府が相互補完していたことを示唆し得る。

本研究では、明治期を中心に天皇と陸海軍との間で天皇の軍事顧問機関を如何に設定しようとしたのかという観点から、元帥府の成立と運用過程を考察する。これにより、憲法規定外の軍事顧問機関の性質を明らかにすることを目的とする。

【研究の内容・方法】(800字程度)

元帥府の性格を明らかにするために、同じく天皇の軍務諮詢機関だった軍事参議院(1903年12月設置)を分析視角として取り上げた。軍事参議院は、天皇の重要軍務の諮詢に応じて軍事参議院を開き、意見を奉答する役割を担い、元帥・陸海軍両大臣・両統帥部長・専任軍事参議官から構成されていた。軍事参議院も元帥府と同様に枢密院に比される機関であったが、一見するとその役割が元帥府と重複することや日露戦争直前に陸海軍の統一運用のために設置された意見調整機関という一面的な評価により、研究が進展しなかった。しかし一方で、天皇の軍事諮詢機関として元帥府が先に存在しながら、なぜ軍事参議院が設置されたのかという疑問が生じる。特に軍事参議院は、多数決制や議長による表決権など具体的な議事規程を整備して機関であり、職務規定のない元帥府とはその性格が明確に異なる。

そこで、本研究では、元帥府と軍事参議院の成立・運用過程の検討を通して、天皇の軍事顧問機関としての両機関の性格を分析することとした。具体的には、天皇が重要事項を裁可する際には、常に当局者以外の者に下問し、裁可の判断材料としていた点を踏まえて、軍事面でも憲法に規定されていない帷幄上奏が慣例化する明治20年代以降、帷幄当局以外に天皇を輔弼・輔翼する助言者を如何にするかという視点を取り上げ、元帥府・軍事参議院の成立・運用に影響したのかを考察した。

本研究は元帥府・軍事参議院に関する初めての本格的な研究であるため、国立国会図書館憲政資料室・国立公文書館・防衛省防衛研究所戦史資料研究センター・靖国神社偕行文庫・宮内庁宮内公文書館所蔵史料を中心に、関係者の個人史料や戦史関連資料なども悉皆的に調査・入手して、検討を行った。

なお、宮内公文書館所蔵の明治天皇御手許書類などから、元帥府内規や軍事参議院条例案といった新史料を発見し、後述の考察をより豊かなものにすることができた。宮内公文書館所蔵史料を利用した研究は、主に皇室関連研究で近年盛んであるが、本研究のように、軍事史・政治史研究の文脈においても宮内公文書館所蔵史料を活用する実証的研究の可能性を提示できたことを付言しておく。

【結論・考察】（４００字程度）

元帥府は、直接的には日清戦後の軍制改革により設置されたが、背景には明治天皇が自らの軍事的下間に応じる山県らを現役に留置することも含意されていた。明治天皇は疑念のある帷幄上奏事項を積極的に諮詢し、元帥全員一致の奉答を得ることで、当局と元帥府との「協同一致」による輔弼・輔翼を求めている。

一方、明確な議事規程がない元帥府では、陸海軍当局や元帥同士でも意見が一致しない事態も生じ、軍事顧問機関としての限界を次第に露呈する。議事規程を備え構成員に元帥を含む軍事参議院設置は、天皇の帷幄における「協同一致」の論理を阻害しかねない元帥府の改革が、陸軍首脳陣により志向された結果だった。

日露戦後以降は、軍事参議院は主に作戦用兵関係事項の諮詢を、元帥府は帝国国防方針や軍縮条約批准など、国務・統帥両面の関係事項の諮詢を受けることになる。このことは、大元帥たる天皇が、国務において内閣と枢密院による輔弼を必要としたのと同様に、軍事面でも帷幄当局と軍事顧問機関との輔翼により裁可していたことを示す。つまり、憲法に明記されていない天皇の輔翼責任を担保する存在として、憲法規定外の元帥府・軍事参議院が機能していたといえる。